

感染を止めよう

どこも同じように、感染の大流行は日本社会にも多大な損害をもたらした。それは、私たちマリアニストの日常生活にも大変影響を及ぼした。私たちは、コンビニや喫茶店でも「ソーシャル・ディスタンス」をとらなければならない。東京地区の教会は閉鎖された。東京大司教は聖週間にはミサに与れなくなるだろうと信徒たちに間接的に告げた。大司教のメッセージを受けて、私たちは家にこもり、復活祭と、大流行で苦しむ人々のために祈ることに決めた。しかし、私たちには他に何ができるのだろうか？

マリアさまのように、私たちは、他人の恐怖と苦しみを和らげるために、日常のことを探した。

日本MLC会員の数名は、必要とする人、あるいは自らのためにマスクの手作りを始めた。また、他の人たちは、特に孤立している人、最近ひとり者になった人、家族から遠くに離れて暮らす人に電話をかけたり、手紙を書いたりした。コロナの感染を防ぐための新しいルールによって私たちの日常活動は一部制限されているものの、私たちは「時のしるし」を見ることはまだできるし、マリアさまならそうすると思われる答えるもたらすために創造的であることもできる。私たちはあなた方に、温かい視線、祝福、心と精神をひとつにした平和を送ります。

詳細は

<http://tokyo.catholic.jp>

または

平田潔(mlckh1243@gmail.com)

まで